

2016年度 技術委員会活動方針

1. 委員会の目的

- (1) 札幌の選手に、より良い環境・刺激を与え、「クリエイティブでたくましい選手」を育成する。
- (2) 各チームの指導者と情報交換しながら、連携して選手を育成することを図る。また、指導者へ情報を発信して、より多くの選手に日本サッカーの方向性に触れてもらえるようにする。

日頃より、各チームの指導者および保護者の方々に、技術委員会の活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。多くの方々のご尽力により、札幌の少年サッカー界からも多数のJリーガーが輩出されています。

また、近年、多くの方々のご理解とご協力のおかげで、トレセン活動が円滑に行えるようになりました。特に、トレセン活動が、「選抜チーム」という場ではなく、「クリエイティブでたくましい選手の育成」の場であるという理解が浸透してきていることが、一番大きな成果と言えます。また、指導者講習会に多くの方々に参加していただくことで、トレセンだけでなく、札幌の全チームにも、ナショナルトレセンの方向性を理解していただけるようになりました。つまり、「個の育成」という、トレセン活動で、最も大切にしたいテーマに向けて、札幌ブロックがひとつになり始めているということです。

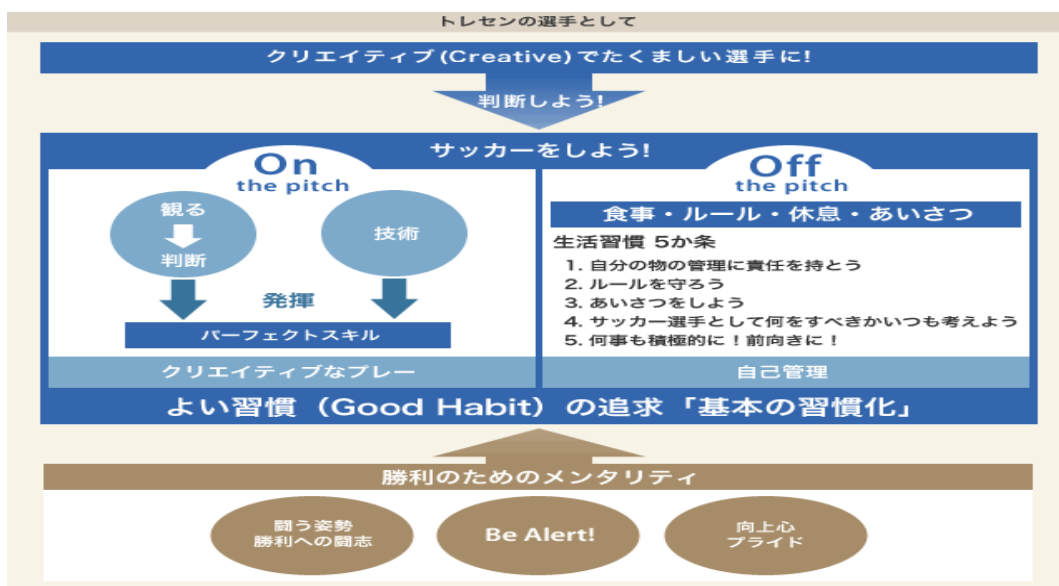
今後も各チームの指導者の方々と情報交換を行いながら、札幌に「クリエイティブでたくましい選手」が育つように、活動を進めていきたいと思っております。

2. 活動内容

(1) トレセン制度によるクリエイティブでたくましい選手の育成

I. 選手の条件

- ① 公益財団法人日本サッカー協会ならびに札幌市サッカースポーツ少年団連盟に加盟するチームの選手であること。
- ② 向上心に富み、常に努力を怠らない選手であること。



Ⅱ. トレセン指導体制

- ① トレセン指導スタッフ：札幌地区サッカー協会技術委員
- ② 組織図・スタッフ配置：下図

札幌ブロックトレセン

事務局次長：川内悠平
 委員長：津元靖史
 副委員長：浅沼達也・堀井健仁

《U12》 チーフ：吉沢一樹 アシスタント：川内悠平	《U11》 チーフ：裊聞徳 アシスタント：嶋田雄二	《U10》 チーフ：木崎拓也 アシスタント：大畑亮太
----------------------------------	---------------------------------	----------------------------------

GK
 チーフ：古賀亮太
 アシスタント：
 花田倅基・浅川夏輝
 山本貴大・浜岡卓

札幌地区トレセン

～東地区～	～西地区～	～南地区～	～北地区～	～中央地区～
チーフ：圓明克通 代表：小池光太郎 ：池田正彦	チーフ：三浦丈治 代表：諫山和義 ：山本三楽	チーフ：石塚知彦 代表：井村正之 ：北川佳治	チーフ：政時卓矢 代表：齋藤猛 ：遠藤邦大	チーフ：北村和弘 代表：水島敏秀 ：野原泰博
U12…堀絢一 遠藤邦良	U12…柳宏一 柴田得光	U12…石塚知彦 高嶋亮介	U12…小門祐太 西向慎治	U12…佐藤佳亮 三上圭介
U11…三条猛 圓明克通 安藤佑太	U11…笹岡孝義 山口敬介	U11…神田修太郎 山口遥也	U11…井島祐輔 早津拓加浩	U11…飛澤開 野原泰博
U10…小池光太郎 立澤匠	U10…上田雅章 佐藤寛樹	U10…中村雅俊 前田直寛 浅見隆平	U10…政時卓矢 佐藤祐一 鶴見佳祐	U10…北村和弘 高木祐太 喜多奎介
メイングラウンド 江別美原グラウンド	メイングラウンド SSSグラウンド	メイングラウンド ばんけいサッカー場	メイングラウンド 東雁来グラウンド	メイングラウンド SSAP

Ⅲ. トレーニング内容

NTC から発信されたトレーニングメニューを中心に、各カテゴリーの発達段階や、各年代の課題を考慮して、スタッフがトレーニングメニューを作成する。毎回のトレーニングやゲームの前後に行うスタッフミーティングで選手の状態を把握し、次の課題を抽出して、トレーニングのテーマとして掲げる。1つ1つの活動が選手にとって積み上げとなっていくように、トレーニングの構築化を図る。

IV. カテゴリー

①U12・U11《ブロック・地区 共通》

- ・前期：4月～9月 後期：10月～3月
- ・選出された選手は、前期(4月～9月)の活動を行う。後期(10月～3月)の活動はトレセン指導スタッフが、前期のトレーニングやゲームを見て評価をして継続するかどうかを判断する。
- ・後期の活動が修了する3月の時点で、次年度への活動に継続するかどうか判断する。

②U10

《ブロック》前期：地区トレセン(～9月) 後期：10月～3月

《地区》選考：4月～5月 前期：6月～9月 後期：10月～3月

- ・前期(6月～9月)は、札幌地区トレセンで活動を行う。(4月・5月で選考会を行う)
- ・後期から、札幌ブロックトレセンの活動(10月～3月)をスタートする。前期の各地区トレセン活動やトレセンマッチなどから、ブロック・各地区スタッフが情報を共有して、地区トレセンの選手のなかから選考する。
- ・札幌地区トレセン後期(10月～3月)の活動は、トレセン指導スタッフが、前期の地区トレセン選手のトレーニングやゲームを見て評価をし、継続するかどうかを判断する。
- ・ブロック・地区ともに、後期の活動が修了する3月の時点で、次年度への活動に継続するかどうか判断する。

V. トレーニングについて

① 練習日・時間

U12・U11…練習2回/月 →月に1度トレセンマッチを行う(水・日曜日)

U10 …練習2回/月 →月に1度トレセンマッチを行う(水・日曜日)

※札幌ブロックトレセンは以上の活動を原則とするが、諸事情により変更もある。

※札幌地区トレセンは、各地区の実状によって、日程を決める。

② 練習会場

《札幌ブロックトレセン》

- ・SSAP 人工芝ピッチ、屋内競技場(東区)・東雁来グラウンド(東区)・東雁来公園東西(東区)
- ・スポーツ交流施設「つどーむ・屋内アリーナ」(東区)・宮の沢屋内競技場(西区)など

《札幌地区トレセン》

- ・東地区：江別美原グラウンド(江別)・西地区：SSS スポーツクラブホームグラウンド(石狩)・南地区：ばんけいサッカー場(中央区)・北地区：東雁来グラウンド(東区)・中央地区：SSAP 人工芝ピッチ(東区)

※札幌地区トレセンは各地区のメイングラウンドを中心にして活動しますが、他の会場を使用することもあります。

③参加費(選手1人分)

《札幌ブロックトレセン》

U12・U11…前期9,000円 後期9,000円

U10…後期9,000円※U10は後期の活動を10月から開始します。

《札幌地区トレセン》

U12・U11…前期9,000円 U10…選考会【4・5月】1回500円 前期【6～9月】5,000円

U12・U11・U10…後期9,000円

→これらの徴収金は、会場使用料・照明代・指導者の日当や交通費などに使われています。

※大会や遠征に参加する際には、別に費用がかかります。

(2) NTC伝達講習会による各チームとの連携

今まで、実施してきたNTC講習会を今後も行っていく。NTCの方向性や札幌4種の選手たちの課題等を交流し、連携を図っていきたい。

3. 年間計画

《札幌ブロックトレセン》

04月 U12・11 前期スタート

北海道トレセンU12 キャンプ (SSAP)

06月 北海道トレセンU12 エリートキャンプ (SSAP)

08月 札幌トレセン交流大会 (U11)

全国トレセン大会 (静岡県御殿場)

全道少年少女選抜大会 (帯広遠征)

びわ湖カップU11 (滋賀遠征)

札幌ブロックトレセンと札幌地区トレセンの選手入れ替えの見極め時期

→札幌ブロックトレセンで、練習生を受け入れる。

09月 日韓交流ジュニアサッカー大会 (札幌)

10月 U12・11・10 後期スタート

2016ナショナルトレセン北海道 U12 (SSAP)

名古屋遠征 U12

11月 南北海道トレセンU11 (東雁来)

12月 U11…ガチアーズカップ (神奈川遠征)

U10…マリノスカップ (神奈川遠征)

01月 北海道 U13 トレセン冬季交流大会、U12 トレセン冬季交流大会

01・02月…**札幌ブロックトレセンと札幌地区トレセンの選手入れ替えの見極め時期**

→札幌ブロックトレセンで、練習生を受け入れる。

02月 北海道 U11 トレセン冬季交流大会、U12 札幌ブロックトレセン交流会

《札幌地区トレセン》

04月 U12・11 前期スタート ※U10は4.5月で選手選考

06月 U10 前期スタート

08月 **札幌ブロックトレセンと札幌地区トレセンの選手入れ替えの見極め時期**

札幌地区トレセンと各チームからの推薦選手入れ替えの見極め時期

→札幌地区トレセンで、練習生を受け入れる。

10月 U12・11・10 後期スタート

01・2月…**札幌ブロックトレセンと札幌地区トレセンの選手入れ替えの見極め時期**

…札幌地区トレセンと各チームからの推薦選手入れ替えの見極め時期

→札幌地区トレセンで、練習生を受け入れる。

4. その他

(1) トレセンデーの設置

JFA では、世界のトップ 10 をめざすための方策の1つとして、トレセン活動の充実を掲げています。選手にとってよりよい環境を作り出し、拮抗したゲームやトレーニングの中でレベルアップを図り、選手を強化していくことが必要となります。その一環として、「トレセンデーの設置」が挙げられています。毎月第4日曜日を「トレセンデー」とし、公式戦を行わず、各種別や各カテゴリーがトレセン活動を統一日として優先的に行っていくという取り組みです（トレセンに選出されていない選手に関しては、各チームでトレーニングやマッチを行ったり、フェスティバルや大会に参加したりして、積極的に活動を進めてください）。

この取り組みによって、種別を超えた活動に着手でき、他ブロックや各地区トレセンとの交流も可能になり、選手の強化として、よりよい環境を作り出せるとともに、選手の過密スケジュールの回避にもつながります。この取り組みは、公益財団法人北海道サッカー協会でも、前向きに進めていくことが決まり、各地区やブロックで日程調整が進められています。わたしたち、札幌でもこの取り組みを積極的に実施していこうと、年間予定について話し合わせ、2011年度から「トレセンデー」が原則的に毎月第4日曜日に設置されました。

今年度も、各チームの指導者ならびに保護者の皆様におかれましては、この取り組みに是非ともご協力いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(2) 資料

